

ブナの里

晴天に雪化粧が映える黒松内町のブナの樹々

写真提供：黒松内町ブナセンター

- ◇ 2026年 岡久理事長 新年のあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・P2, 3
- ◇ 当法人事業所のある4町村長から新年のごあいさつ・・・・・・・・P4, 5
- ◇ 法人各施設 年末行事特集・・・・・・・・・・・・・・・・P8～11

2026年 年頭のあゆみ



社会福祉法人黒松内つくし園

理事長 岡 久 孝 雄

新年明けましておめでとうございます。

2026年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

利用者・ご家族の皆様をはじめ、地域の皆様、そして関係機関の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃より当法人の運営に際し、黒松内町、俱知安町、京極町、泊村、関係機関の皆様、そして地域の皆様には多大なるご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。そして何より、法人役員とご家族の皆様に、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年6月の役員改選において、社会福祉法人黒松内つくし園理事長を拝命いたしました。創設者である故廣瀬清蔵元

理事長のご指導のもと、約半世紀にわたり社会福祉に携わつてまいりました。故廣瀬元理事長の福祉への情熱と地域への想いを後世へと繋いでいくため、理事長という大役を務めさせていただきます。半年が経過しました。

社会福祉法人を取り巻く環境は大変厳しいものであります。

・ 昨今の燃料費や電気料、食料・消耗品費といった物価高騰は著しく、法人の経営を激しく圧迫しています。加えて、人件費の高騰と深刻な人材不足により、事業運営自体が全国的に困難な状況にあります。

この厳しい経営状況の中で、法人の舵取りを担う私たちは、いかに効果的なお金の使い方をするかがとても大切であり、私は常々「職員こそが当法人の最大の宝である」と考えております。

法人全体の職員数は昨年12月末で430名程にまで年々減少してきております。福祉・介護

職員の十分な確保は望めない中、やはり宝である職員に充実して長く働いていただくことが最も重要であると思います。職員が安心して働き続けられるよう、働きやすい職場づくりを行ってまいります。そして、「黒松内

つくし園で働いてよかった」と心から思えるよう、私も先頭に立って全力で取り組んでまいります。そのため、理事長就任以来、できるだけ多く施設に足を

運ぶよう心掛け、利用者や職員と接する機会を持つてきました。各施設のおまつりや食事会、開園記念式典、屋台出店など多くの行事にも参加させていただき

ました。新しく採用した職員等にも直接会って辞令を手渡し、激励を行っております。また、職員やご家族の慶弔事には、規

程による慶弔金をお渡しして対話するよう努めております。そして、職員への福利厚生を充実させていくため、設置型の100円から買える健康社食を導入

し、職員から好評を得ております。昨年末には、全職員を対象に年末大抽選会を初めて開催。

一年の苦労をねぎらい、わずかではありますが景品を配布させていただきました。少しでも職員が心身ともにゆとりを持って、利用者支援ができるようサポートし、永く法人に勤続していただ

けるよう努めてまいります。

法人では、人材確保・定着・育成と職員の待遇改善を図るため、様々な取り組みを行ってまいりました。そのような中、2024年11月に「北海道働き方

改革推進企業ゴールド認定」を授賞することができました。昨年3月には「北海道介護人材確保・育成認証制度」において、各介護事業所がその基準を満たし認証を受けました。そして、

昨年11月には、北海道働き方改革推進企業ゴールド認定を受けている13企業の中から、特に優れた取り組みを実施している3企業が選ばれ、当法人が北海道知事より「令和7年度北海道働き方改革推進企業・SPゴールド表彰」を受賞いたしました。

高追大佐小大松高高松武坂佐高池小澁大吉 遊 岡
久々
野立保木野迫田橋木田井口藤橋田谷谷代田 部 久
裕 有 克順一晴政光 雅英重孝 貴 眞 孝
和司慶剛裕司子彦光敏秋進彦俊人夫剛輝剛 澄 雄

法人施設事業所のある4町村長より 2026年 新年のごあいさつ

新年にあたって



鎌田 満 黒松内町長

新年あけましておめでとうございます。

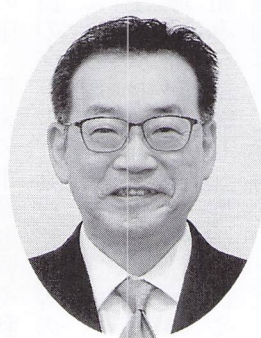
社会福祉法人黒松内つくし園の岡久理事長をはじめ、役職員の皆様、また、施設の利用者とそのご家族の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福祉を取り巻く状況が日々変化することであって、本町が抱える様々な福祉課題に対しご理解をいただき、事業の安定的な運営や地域貢献活動を通じて、町民や利用者が永く安心して暮らすことのできる環境の維持推進にご尽力を賜り、地域を代表して感謝と敬意を表します。

昨年は、しりべし学園から全国障害者スポーツ大会での銀メダリストが誕生されたほか、町内出身者としては2人目のプロ野球選手が生まれるなど、明るい話題の多い一年でした。また、職員の皆様には、ビーフ天国まるっと黒松内やブナ診療健康まつりをはじめとした町内行事への積極的なご協力を通じ、地域に活力をいただきましたことに御礼申し上げます。

現在、国では必要なサービスが安定して継続されるよう物価高騰支援や介護報酬の早期改定などに取り組まれておりますが、近年における人材の確保や物価高騰を含む各種経費の増加など、介護・障害・医療を取り巻く環境は依然として厳しい情勢が続いております。岡久理事長を中心に職員の方々の英知を結集し、これらの難局を乗り越え、常に時代と地域の要請に応えた質の高い福祉サービスが展開されることを期待しております。

年頭ご挨拶



文字 一志 俱知安町長

新年あけましておめでとうございます。

貴法人の役職員をはじめ、施設の入所者・利用者、またそのご家族の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

急速に進む少子・高齢社会において、高齢者及び障がいを持つ方の住環境問題、また、障がいのある方の就労支援など当町が抱える福祉行政課題に対し、貴法人にご尽力頂いております。

結びにあたり、貴法人が更なる飛躍を遂げられますとともに、関係各位の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

貴法人が当町において運営されている就労支援事業所「羊蹄セルプ」をはじめとする福祉施設は、俱知安町にしっかりと根付き、当町はもとより、これら施設の利用者並びにご家族の方も大変感謝しているところでございます。

近年、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、市町村や都道府県が、地域の自主性や特性に応じた、地域の包括的な支援・サービスの提供を整備するための重層的支援体制の構築が推進されております。

エネルギー価格や物価の高騰による経費の増加が、法人経営への影響も心配されるところでありますし、全国においても介護職員等の人材確保が課題となつているところです。

また、今後も、様々な制度改正が進み、福祉のあり方が大きく変化する中で、黒松内つくし園に代表される専門性・経験豊かな社会福祉法人、NPO等の役割は大きく、行政と皆様方の協力・協働がなければ、この難

局は乗り越えられないと感じておりますので、当町に対する、貴法人の一層のご協力をお願い申し上げます。末筆になりますが、貴法人の益々のご発展ご活躍と皆様にとりまして良い年になりますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



佐古岡 秀徳 京極町長

あけましておめでとうござい
ます。

貴法人の役職員の皆様をはじめ、施設のご利用者のご家族の皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、本町の地域社会福祉の向上に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申

し上げます。

さて、貴法人が本町で運営されております「養護老人ホーム慶和園」、「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」においては、職員の皆様の日頃からのご研鑽により、質の高いサービスを提供いただいております。また、日頃より地域との交流を積極的に図られていることにより、住民が安心して生活が続けていくための基盤づくりに大きな役割を果たしていただいていると認識しているところでございます。

「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」につきましては、看取りに対する環境整備及びケア、また、京極町地域生活支援拠点を整備していただいたところであり、今後におきましても、貴法人には、高齢者等が、住み慣れた京極町で安心して生き生きと暮らすことができる環境づくりに努めていただくとともに、災害発生時には福祉避難所の開設にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1年となりますことを心からご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭ご挨拶



高橋 鉄徳 泊村長

新年明けましておめでとうござい
ます。

令和8年の新年を迎えられました貴法人の役職員の皆様、施設をご利用されております皆様及びご家族の皆様には、心からお慶び申し上げます。

また、貴法人には令和5年4月より指定管理者として5年間、当村老人ホームむつみ荘（特養・養護）の管理運営を引き続きお願い申し上げます。サービス利用者様やご家族様への対応など、地域福祉の向上に寄与いただい

ていることに対しまして感謝申し上げます。

昨年、泊村では国の物価高騰対策に先駆け、村内全世帯に『泊村物価高騰生活支援券』を配布し、更には65歳以上の高齢者世帯に2万円分を追加し、日常生活の負担が軽減される様、対策を講じてまいりました。特に、むつみ荘を利用されている皆様には、厳しい社会情勢の中、安心して健やかに暮らしていただける一助になればと思っております。

むつみ荘におかれましては、年を重ねても住み慣れた地域で暮らし続けることができる支援を整える「地域包括ケア」の場として、ご利用者様や施設関係者が地域の人々と交流を深める施設として役割を担うものと期待しております。

結びにあたり、社会福祉法人黒松内つくし園の益々のご繁栄と職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年も発展と喜びの多い明るい年になるようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 黒松内つくし園 2025年重大ニュース!

当法人の「2025年重大ニュース」が決定しました。

社会福祉法人を取り巻く環境は一層厳しさを増していますが、倫理綱領のもと利用者主体のより良い自立支援サービスを提供し、社会貢献事業の継続・推進、SDGsやD&Iの取り組みを行ってまいりました。

さて、この2026年、どのような話題が会報「ブナの里」の紙面を飾るのでしょうか。

法人にとって皆様にとって、明るいニュースがより多く伝えられることを期待します。

☆「倶知安複合施設つくしんぼ」土地建物の引き渡しを完了（1月）

☆倶知安在宅介護拠点区分（グループホームつくしんぼサービス区分）及び人と人をつなぐ陽だまりサービス区分を廃止（3月）

☆泊村養護・特養老人ホームむつみ荘施設長の高橋英俊理事が退任（3月）

☆後志リハビリセンター施設長の工藤敦子氏が退任（3月）

☆黒松内町の委託を受け「黒松内町地域包括支援センター」の運営を開始（4月）

☆泊村養護・特養老人ホームむつみ荘施設長に野崎幸男氏が就任（4月）

☆後志リハビリセンター施設長に高橋英俊理事が就任（4月）

☆旧緑ヶ丘ハイツ土地建物を黒松内町に無償譲渡（4月）

☆北海道が推進する介護人材確保・育成認証制度における基準を満たし「北海道 働きやすい介護の職場」の認証を受ける（4月）

☆法人辞令交付式で新任職員10名が辞令を受け取る（4月）

☆認定こども園黒松内保育園の保育定員を50名から40名に変更（4月）

☆法人奨学資金5万円を黒松内町内の高校生14名に支給（4月）

☆社会福祉法人黒松内つくし園評議員に高野裕和氏が就任（6月）

☆役員改選により当法人理事長に岡久孝雄氏、常務理事（業務執行理事）に遊部眞澄氏、業務執行理事に吉田剛氏、監事に武井光秋氏、顧問に大代貴輝氏が就任。（6月）

☆認定こども園黒松内保育園施設長の佐藤美次喜氏が退任（6月）

☆認定こども園黒松内保育園施設長に杉村克司氏が就任（7月）

☆しりべし学園成人寮生活介護サービス利用定員を60名から50名に変更（9月）

☆障がい者グループホーム「いずみホーム」の入所定員を25名から24名に変更（10月）

☆「北海道働き方改革推進企業ゴールド認定」を受けている企業のうち特に優れた取り組みを実施しているとして北海道知事より「令和7年度北海道働き方改革推進企業・S P ゴールド表彰」を受賞（11月）本誌16ページ参照

☆特定技能インドネシア人12名が法人5事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催（12月）本誌12・13ページ参照

☆法人各施設でクリスマス会や年忘れ会などの2025年年末行事を開催する（12月）



緑ヶ丘老人ホーム 大鳥神社境内除雪

12月31日、社会奉仕の一環として大鳥神社の境内除雪を行いました。緑ヶ丘老人ホームが開設して以来、毎年欠かさず地域貢献事業の一つとして行っています。



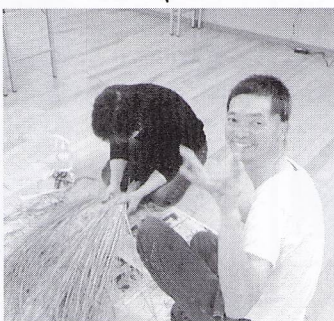
ます。

今年も職員と地域の皆様と一緒にに行い、新年に向けての準備が整いました。これからも開設当初の想いに寄り添い、伝統を守っていききたいと思っています。

しめ縄交流会で地域とふれあ しりべしワークセンターセオス

12月6日にしりべし学園成人寮ふらつとにて、黒松内町社会福祉協議会と協力し、毎年恒例のしめ縄交流会を開催いたしました。

9名の町民の方々が参加され、リース飾りと神棚用



午房(ごぼう)を編みました。一人で編むことが難しい方には、利用者がお手伝いし、皆さん納得のいくしめ縄を編むことができていました。飾り付けもクリスマス用、お正月用と思い思いに行い、素晴らしいリース飾り、神棚用午房が完成しました。利用者と一緒にしめ縄を編

むことでコミュニケーションをとり、とても楽しかったというお声をいただきました。



た。来年以降も続けて行い、良い年越しのお手伝いができればと思います。

法人から職員にプレゼント！ 第一回年末大抽選会開催

当法人初の試みとして、全職員対象とする年末大抽選会を開催いたしました。岡久理事長をはじめ、幹部職員が日頃頑張っている職員の皆さんへ、何かワクワクする催しができないか、わずかでも職員に還元できないかという想いから、今回の企画を実施しました。

法人全施設をオンラインで繋いで、リアルタイムで抽選会を

開催しました。遊部常務理事によるくじのシャッフルから始まり、岡久理事長が職員の施設・氏名の書いたくじを引き、5等から特賞まで当選者が決まりました。各施設では、当選者が出ると大いに盛り上がり、喜びの声が聞かれました。



抽選会終了後、黒松内町内の施設に岡久理事長が訪問し、当選者に景品を贈呈しました。湯の里・黒松内では(Ⅱ写真Ⅱ)、見事特賞の「リファビューティックドライヤー」をゲットした外国人介護職員に賞品を手渡すと感激の声が聞かれました。法人がひとつになり笑顔があふれる楽しい時間となりました。

2025年 法人年末行事特集

法人各施設ではいろいろな工夫をしながら、感染対策を徹底して利用者が笑顔となるよう年末の催しを行いました。

緑ヶ丘ハイツ「クリスマス会」

12月25日にクリスマス会を開催しました。皆さんでゲームを行い、「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」のクリスマスソングを歌い、一人ひとりにサンタ・トナカイよりプレゼントをお渡ししました。その後、お菓子と飲み物を美味しくながら談笑し、とびきりの笑顔や笑い声が上がっていました。今後も利用者の皆さんが楽しめる時間を少しでも感じ取れるよう職員一同頑張っていきます。



湯の里・黒松内「忘年会」

12月19日に今年を締めくくる忘年会を開催しました。

今年はなんと!!大物演歌歌手「北島六三郎」が…登場予定でしたが、インフルエンザに感染してしまい急遽、弟の「北島十三郎」が出演しました。他にも昭和のスーパーアイドル「ももいろレディ」や施設の利用者・職員で「花笠音頭」を披露していただきました。

職員はもちろん利用者も笑顔で鑑賞され、「楽しかった」「今年一番笑ったわ」という声が聞かれました。余興もあっという間に終わり、最後に豪華な夕食が提供されました。

メニューは、お寿司と茶碗蒸しなどが並び、利用者の皆さんから「美味しかった」という声が多く寄せられました。



黒松内つくし園「クリスマス会」

12月24日(水)クリスマス・イヴに当園の体育館にてクリスマス会を開催しました。

理事長をはじめ、日頃お世話になっている黒小・中、白小・中学校、黒松内保育園の先生方に手作りの招待状をお届けし、50名以上の皆様にご参加いただきました。

開会セレモニーは、年長児によるかわいらしい開会の言葉から始まり、キャンドルサービスでは、白衣に身を包んだ子どもが各テーブルを回り、ロウソクに火を灯しました。幻想的な雰囲気の中、小学生が「荒野の果てに」を歌い、その澄んだ歌声が会場に響き渡りました。

祝会では、子ども達による「ダンス」発表、実行委員企画の「お絵描きゲーム」などを実施し、さらに「ビンゴゲーム」では商品券やお菓子の賞品が用意され、大いに盛り上がりました。参加した子ども達や来賓の皆様は、オードブルやちらし寿司などのご馳走を囲みながら、楽しい聖夜を過ごすことができました。



慶和園「クリスマスケーキバイキング」

12月23日にクリスマスケーキバイキングを開催しました。

当日は色とりどり、様々なケーキが利用者をお出迎え。参加された皆様からは、感激の声が上がりました。中でも、好きな味を選んで作ってもらう「クレープ」が大好評で、会話も弾む楽しい時間となりました。



緑ヶ丘老人ホーム「誕生会」

12月の誕生会では、職員による余興でサンタクロースや雪だるまに扮し歌を披露してくれました。皆さんも一緒に口ずさみクリスマスの雰囲気の中で大変盛り上がりました。



黒松内町サービスセンター「忘年会」

12月の誕生会と、忘年会を12月5日から19日に開催しました。誕生者は、参加した皆様から「おめでとう!」とお祝いをされると、いつものニコリ笑顔でお礼を述べられていました。

忘年会では、岡久施設長より今年の漢字、「熊」・「米」・「高」についてなど今年1年を振り返るお話がありました。皆様にとって大変な年であったと思いますが、来年は良い年になりますように。



後志リハビリセンター「クリスマス会」

12月24日のクリスマスイブにクリスマス会が開催されました。スカットボールを皆さんで楽しめた後は、高橋施設長が扮するサンタクロースが利用者の皆さん一人ひとりにプレゼントを配りました。皆さんとても良い笑顔で受け取られていました。大人になってもクリスマスプレゼントはうれしいものですね。



しりべし学園成人寮「クリスマス会」

12月23日にクリスマス会を開催しました。岡久理事長をお招きし体育館でクリスマスツリーに飾り付けを行い、写真撮影をしました。その後、利用者が楽しみにしていたクリスマスプレゼントを受け取り、笑顔で楽しめた様子でした。



黒松内保育園「クリスマス会」

サンタさんがプレゼントをいっぱい抱えて保育園に来てくれました。

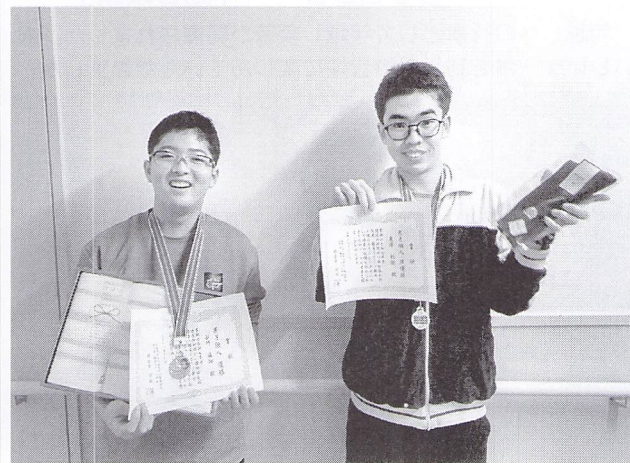
今年少し控えめなトナカイさんも登場し、驚いた子どもたちから歓声があがりました。

一緒に歌ったり、踊ったり楽しいひとときを過ごしました。



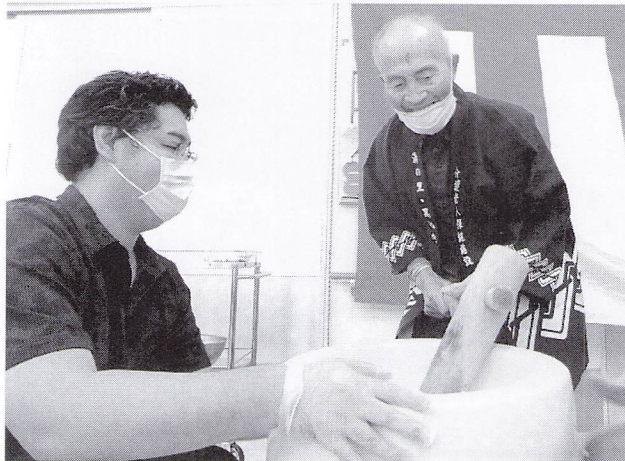
しりべし学園「ボウリング大会で優勝」

後志知的障がい福祉協会利用者スポーツ部会によるボウリング大会にて、個人戦・団体戦ともにしりべし学園が1位2位を独占しました。



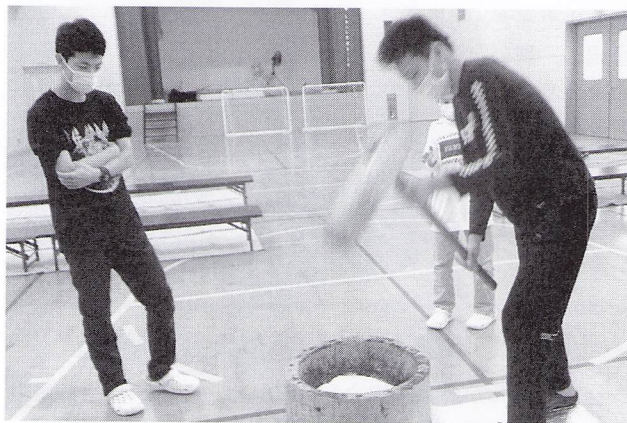
湯の里・黒松内「もちつき」

12月26日に恒例のもちつきを行いました。ほとんどの利用者が参加して、みんなで杵を持ち健康長寿を祝いもちつきをしました。最後は体格の良い職員がしっかりと力を込めて突きあげました。ついたおもちは、女性利用者が手際よく丸めてお昼の雑煮となりました。食事の時には昔のもちつきの話して賑やかなひと時を過ごしました。



しりべし学園「もちつき」

12月30日、しりべし学園で餅つきが行われました。初めて経験する利用者もいましたが、以前も参加した利用者が杵の持ち方や付き方を丁寧に教えてくれ、終始和やかな雰囲気の中で行うことができました。



後志リハビリセンター「年越し喫茶」

年越しへの行事として年越し喫茶が開催されました。おいしいケーキを利用者の皆様に楽しんでいただきました。



黒松内つくし園「もちつき」

12月28日（日）玄関ホールで毎年恒例の餅つきを行いました。幼児から小中学生まで順番に餅つきを体験し、初めて挑戦する子も重い杵を一生懸命振り下ろしていました。つき上がったお餅は小さく丸め、昼食に美味しくいただきました。片付けも床を雑巾がけしながら一列に並び競争をするなど笑顔溢れる時間となりました。



黒松内保育園「もちつき」

12月5日、保育園では少し早く年末の恒例行事でもあるおもちつきを行いました。エプロンやバンダナを身につけると雰囲気アップ！「よいしょ、よいしょ」と威勢のいい掛け声に合わせて、力強く杵を振り下ろします。ついた瞬間、モチっとした音に大喜びして思わず笑顔がこぼれる子もいました。

完成したおもちは、年長クラスの子どもたちと先生とで大きな鏡もちにして飾りました。つきたてのおもちは

、けんちん汁に入れたり、砂糖しょうゆ・きなこ・あんこ味で食べたりしました。あまくて、やわらかいおもちに「おいしい～」とほっぺがゆるむ子がいっぱいいました。



後志リハビリセンター「もちつき」

今年も利用者と職員でもちつきが行われ、臼と杵で本格的なおもちをつきました。



黒松内保育園「まゆ玉飾り」

子どもたちと一緒に大掃除とまゆ玉の飾りつけをして新年を迎える準備を行いました。お部屋の隅々までピカピカにした拭き掃除は「きれいになったね!」と大喜び。まゆ玉の飾りつけは、割れないように「そおと、そおと」教わったことをちゃんと大事にして、モノを丁寧に扱う姿に心あたかくなりました。



黒松内町サービスセンター「しめ縄作り」

今年は利用者と一緒にしめ縄づくりに初挑戦しました。

難しいという声が聞かれるかと思いましたが、皆さん興味を持って作業していただき、作業はとても早く進みそれぞれ1つずつ作っていただきました。手先を使い、相手と協力し合って作るため、心身が活性化されてとても良い行事となりました。手先が器用な方ばかりで素適な作品がたくさんできました。



緑ヶ丘老人ホーム「園内年取り」

12月30日に、2025年最後の行事である園内年取りを行いました。職員による恒例の紅白歌合戦では、それぞれ趣向を凝らし競い合いました。利用者にも大変好評で喜んでいただき、2025年も笑顔で締めくくることができました。



泊村むつみ荘「そば打ち実演」

むつみ荘職員有志「そばっこクラブ」のメンバーが12月31日、養護老人ホーム・特別養護老人ホームすべての8ユニットにお邪魔し、そば打ちの実演を行いました。入居者はメンバーの水回し、練り、のし(延ばし)、切りの作業に興味深く見守り「10割? 2:8?」と昔自宅でそば打ちをしていた方から質問などが聞かれました。そば打ちは14年前から大みそかの恒例となっており、入居者からは「施設長が大みそかに毎年そば打ちしてくれ、それを食べるから1年元気でいられる」と笑顔で話し、そばの味や香りを楽しまれました。



緑ヶ丘ハイツ「繭玉作り」

12月28日、繭玉の飾りつけを利用者の皆さんと行いました。1階・2階・3階フロアの3つを作成。なかなかつつかず飾りつけに皆さん真剣な表情をしていました。そんな中でも会話で、昔の思い出話に花を咲かされ笑いが起きていました。年の瀬に賑やかなひと時となり新年を迎えられます。



黒松内つくし園「繭玉飾り」

12月28日(日) 玄関ホールで繭玉飾りを行いました。集まった子ども達は自分で考えながらカラフルな繭玉と飾りを枝につけて完成。出来上がった繭玉は玄関ホールと食堂に飾りました。



外国人職員の仲間が増えました！今回は最多の12名を採用

当法人では、今年度の特定技能外国人受入れとして、12月にインドネシアから12名を新たに雇用しました。

配属施設は、緑ヶ丘老人ホームが1名、しりべし学園成人寮が2名、緑ヶ丘ハイツが3名、ユニットケア慶和園が4名、泊村特別養護老人ホームむつみ荘が2名となります。

7月に面接し内定してから入国するまで、毎月オンラインで各施設長や職員と面談を実施しました。日本に來たらやってみたい事を聞くと、「たこやき、お団子を食べてみたい」「ニセコでスキーを経験してみたい」「黒松内のブナ林を歩いてみたい」など話しており、直接会う前から親睦を深めていました。

各施設のインドネシア人の先輩が面談に参加し、仕事の流れや職場のルールなどを母国語で話し合うこともあったので、安心して入国することができたのではないかと思います。

待望の12月1日、新千歳空港へ無事に入国しました！！写真！！



札幌市内のホテルで一泊した翌日は、登録支援機関によるオリエンテーションが行われ、日本の生活ルールについて8時間の研修を受けました。また、「冬の北海道でないと買えない物」として、冬靴とダウンコートを買っていました。

12月3日には、各施設の職員が札幌のホテルへ迎えに行き、一緒に食事をし、百円ショップや洋服店、大型食料品店で職員と相談しながら買い物をしました。午後から吹雪になりました。

が、滑らない歩き方を練習したり、車窓から見える海や雪景色をスマホで動画に撮ったりと、楽しい経験にっていました。宿舎に着くとリラククスした表情となり、さっそく晩ご飯の準備をしていました。

特定技能外国人辞令交付式

しりべし学園成人寮地域交流スペース「ふらっと」にて、12月4日に特定技能外国人辞令交付式を行いました。辞令交付式では、岡久理事長より辞令が一人ひとりに手渡されました！！写真！！



その後、一人ずつ自己紹介を行い、緊張しながらも練習してきた日本語で元氣よく話してい

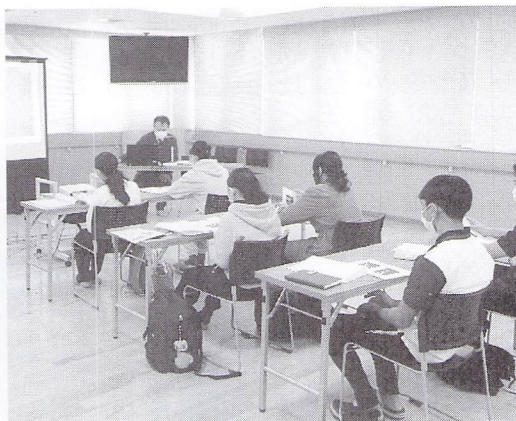
ました。「がんばります！」と言ってガッツポーズをする姿もあり、和やかな雰囲気です式典が進められました。



特定技能職員研修会開催

12月5日には研修会を実施しました。寿都警察署、黒松内駐在所、黒松内郵便局、黒松内消防支署、黒松内町役場住民課よりそれぞれ担当者を講師に迎え、「防犯と交通ルール」「銀行口座の使い方」「火事、救急について」「ごみの分別」の講義をしていただきました。皆さんはインドネシア語の同時通訳も聞きながら、真剣にメモを取って

いましたⅡ写真Ⅱ。
研修会実施にご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。



今回の採用により、外国人職員は12月末現在で42名となり、黒松内町では28名、京極町、泊村では各7名が勤務されています。国籍はインドネシア、カンボジア、ベトナム、ネパール、タイとなっています。

特定技能受入れから5年が経過

当法人では2020年より特定技能制度での外国人受入れを開始したため、今年、在留可能な最長5年間の満了して母国へ帰国した職員もおります。すっかり頼もしい存在になった職

員が居なくなることで、施設では寂しい思いもありますが、日本で学んだ介護技術や日本語を存分に活かして、母国で活躍してくれることを期待しています。介護職の外国人が5年以上働くためには、介護福祉士国家資格を取得し、在留資格『介護』に変えなければなりません。介護福祉士国家試験は今年度から分野合格システムになったものの、介護知識や日本語読解力はいまだに高い能力が求められています。そのため当法人では、日本語能力試験の受験や実務者研修の受講も推奨しております。外国人職員も「日本語試験でN2（通訳可能レベル）を目指したい」「実務者研修を受けたいけど何月にありますか」と意欲を見せており、手続きや勉強方法などを支援機関と一緒にサポートしてまいります。

今後とも、外国人職員が公私ともに日本の暮らしを安心して充実して過ごせるよう、さらには資格取得などのステップアップに励めるよう、環境づくりを進めていきたいと思えます。



特大しめ縄を後志総合振興局へ贈呈

12月19日、当法人の就労継続支援B型事業所「しりべしワークセンターセオス」で作成した特大しめ縄を後志総合振興局に贈呈しました。新年の幸せを願ったしめ縄は、岡久理事長、遊部常務理事同席のもと、セオス園芸課で



特大しめ縄を瀧川後志総合振興局長(写真左)へ贈呈

しめ縄の贈呈は平成7年より続いており、毎年の恒例行事となっています。贈呈した工藤友強さんは少し緊張した様子でしたが、無事にしめ縄を贈呈することができました。贈呈後、しめ縄作りや園芸課の作業などに

ついて職員が同席された方々に説明し、「いつも素晴らしいしめ縄を贈呈していただきありがとうございます」とのお声をいただきました。特大しめ縄は全体の太さや形が均等になるように、常に力加減を調整しながら利用者と職員で協力して作成しています。全体のバランスをとることが難しく、息を合わせて編むことが大切です。

贈呈させていただいたしめ縄は大変好評で、後志総合振興局の正面玄関に飾られ、2026年の元日を待つのみとなりました。新年も旧年に増して「しりべしワークセンターセオス」をご愛顧賜りますようお願いいたします。(係長 小林健介 記)



しめ縄が飾られた後志総合振興局の正面玄関

「職員のために」健康食堂設置

当法人では福利厚生の一環として、株式会社KOMPEITO様が提供する設置型の健康食堂「OFFICE DE YASAI」を導入しました。

この食堂は、全国でも話題で



あり累計2万拠点以上の導入実績があるとのこと。少人数のオフィスから大企業まで、人数規模・業界・業種問わず利用されています。やさいプランとごはんプランがあり、それぞれ冷蔵庫と冷凍庫で保管されていて、職員が好きな食品を選んで、

100円から自由に購入できます。また、栄養管理がしっかり計算されたクオリティの高い健康食です。定期的に社食が届き、施設ごとに希望の食品をオーダーすることもできます。コンビニなどに出かけることなく購入できて、野菜などの健康的な食材が摂取可能で、価格も安く買います。

昨今の物価高と職員への健康管理に対するケアを考え、福利厚生制度として導入しました。

今後も岡久理事長の「職員に健康で楽しく、笑顔で働いてもらいたい」との思いを進めてまいります。

法人からのメッセージ

職員の皆さんに、健康で楽しく笑顔で働いていただけるように福利厚生として導入いたしました。

ちょっと小腹がすいたときや夜勤のお供に、ぜひ利用して下さい！



理事長 岡久 孝雄

OFFICE DE YASAI

OFFICE DE YASAI
導入しました



法人会務の運営状況

(2025年11～12月開催分)

- ◆ 11月14日 施設長・副施設長会議
- ◆ 11月10日～21日 内部監査
- ◆ 11月18日 北海道働き方改革推進企業SPゴールド認定企業受賞式
- ◆ 11月19日～20日 監査法人期中往査
- ◆ 11月27日 監事監査
- ◆ 12月4日 第448回理事会
- ◆ 12月4日 特定技能外国人辞令交付式
- ◆ 12月5日 特定技能外国人研修会
- ◆ 12月15日 黒松内町福祉関係者懇談会
- ◆ 12月16日 施設長・副施設長会議
- ◆ 12月16日 苦情解決委員会
- ◆ 12月19日 後志総合振興局しめ縄贈呈式

ご厚志に心から感謝申し上げます

(令和7年10月1日から令和7年12月31日まで)敬称は略させていただきます。

お詫びのご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えていただいております。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

黒松内つくし園後援会、(有)クローズホールド、(有)小間旅館、(有)黒松内電工社(以上黒松内町)、京極町社会福祉協議会(京極町)、北海道新聞社会福祉基金、北海道共同募金、北海道信用金庫ひまわり財団(以上札幌市)

北海道信用金庫ひまわり財団様より助成金をいただきました

12月23日、法人本部に北海道信用金庫黒松内支店の多田支店長が来訪され、「北海道信用金庫ひまわり財団」様からの助成金が贈呈されました。

北海道信用金庫ひまわり財団様の助成金は、地域の社会福祉の向上を目的に、各福祉団体や社会福祉法人へ助成されているもので、当法人も今年で7回目の受領となります。

この助成金は大切に使用させていただきます。ご厚志に心より感謝申し上げます。



編集後記

新たな一年がスタートしました。皆様とご家族にとつて健康で実りのある良い一年となりますようにお祈りいたしております。

2026年は冬季五輪やワールド・ベースボール・クラシック、サッカーW杯などビッグイベントが多く、楽しみが続いていきます。生活習慣病改善に観るだけでなく体を動かして、健康にも気を付けていきたいと思ひます。

今年は60年ぶりに「丙午(ひのえうま)」です。「この年に生まれた女性は気性が激しくて夫を圧倒する」といった迷信があつたようです。しかし、女性が強いのは丙午に限ったことではありません(私の妻は辰年)。むしろその女性の「強いエネルギー」とマンパワーこそが、福祉の現場を動かす原動力になっています。古い迷信を笑い飛ばすくらい、女性も男性も本来の丙午が持つ意味である「燃え盛る火」のような強いエネルギーが溢れ、活気に満ちた一年となり、世の閉塞感を焼き尽くすような明るいニュースを期待したいものです。

本年も法人各施設の広報誌やホームページ・ブログ、会報ブナの里と法人広報委員会をどうぞよろしくお願いいたします。

岡田

栄えある「SPゴールド表彰」を受賞しました

北海道知事より「令和7年度北海道働き方改革推進企業・SPゴールド表彰」を受賞。2025年11月18日、北海道庁において賞状伝達式が執り行われ、三橋北海道副知事より岡久孝雄理事長に賞状が伝達されました。



三橋副知事（写真右）と
岡久理事長（写真左）

北海道働き方改革推進企業認定制度とは、「多様な人材の活躍」、「就業環境の改善」、「生産性の向上」に積極的に取り組む企業を認定し広く紹介することで、道内企業の働き方改革の取り組みを促進し、持続的发展や労働者の福祉の増進に資することを目的とした制度です。ホワイト・ブロンズ・シルバー・ゴールド企業の4段階に分かれ、ゴールド

ルド企業は最高位となります。

認定企業718企業中、ゴールド企業は13企業であり、社会福祉法人は当法人のみとなっております。

この表彰は北海道働き方改革推進企業認定制度のゴールド認定を受けている13企業のうち、特に優れた取り組みを実施している企業として3企業が表彰を受けています。

多様な人材の活躍や就業環境の改善、生産性向上に資する取り組みなど、独自性があり他の

賞状

社会福祉法人黒松内つくし園様

貴社は令和7年度北海道働き方改革推進企業SPゴールド表彰において多様な人材の活躍や就業環境の改善など特に優れた働き方改革の取組を実践しており他の模範となる優れた成果を収めている企業と認められましたのでこれを賞与します

令和七年十一月十八日

北海道知事 鈴木直道

模範となる優れた取り組みを積極的に行う企業が表彰の対象となります。

当法人が特に優れた取り組みとして高く評価された内容は次のとおりです。

- ・町内の中学校と連携し、お仕事体験出前講座を実施
- ・福利厚生制度について紹介したパンフレットを作成
- ・高齢者、障がい者の積極的な雇用を促進
- ・人事部に外国人の担当者を配置し、外国人職員へのケアを実施
- ・事実婚及び同性パートナーも対象とした福利厚生制度の整備
- ・業務改善推進委員会を設置し、各事業所の悩み・取組を共有、意見交換を実施
- ・役場と連携による福祉施策の検討、実施

当法人では、これまで人材確保・定着・育成と職員の待遇改善、働きやすい職場づくりのため、様々な取り組みを行ってまいりました。この度の受賞を励みに今後も働き方改革に継続して取り組み、職員一人ひとりが働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

法人会報「ブナの里」第151号

発行年月日
発行 者
発行責任者

令和8(2026)年1月1日発行
社会福祉法人 黒松内つくし園
法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人
〒048-0101

黒松内つくし園

北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1

電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp

URL:https://tsukushien.or.jp

